

基本政策シート

2025年度	(管理番号)			部局名
	分野	基本政策		学校教育部
	02	02	01	

分野	基本政策
こども・教育	自分や浜松の未来を創る人づくり

将来の理想の姿(2044年)

地域の宝として愛情を注がれたこどもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後(2034年)の理想の姿

こどもたちは、自分らしさを大切に、描く夢や未来の実現に向けて、互いを尊重し合い、他者と協働したり、自己調整したりしながら粘り強く取り組んでいる。
学校、家庭、地域、企業など社会全体が連携して一人ひとりのこどもを育み、こどもたちは地域への愛着や誇りを持っている。

生活満足度に関する指標(分野指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
こどもを生み育てる環境	あなたの暮らしている地域では、子どもを生み育てやすい環境が整っていると感じますか。	2.91	2.94				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

政策体系

政策番号	政策	事業名	担当課名
01	01	未来の創り手に求められる力の育成	教育総合計画推進事業
			コミュニティ・スクール推進事業
01	02	未来の創り手に求められる力の育成	学校保健衛生事業
			小中学校給食事業 学校給食センター事業
			学校安全事業
			児童健康診断事業 生徒健康診断事業
01	03	未来の創り手に求められる力の育成	人件費 会計年度任用職員
01	04	未来の創り手に求められる力の育成	教育研究・指導事業
			生きた英語力育成事業
			理科・ものづくり教育支援事業
			音楽等発表会開催事業
			三遠南信交流推進事業
01	05	未来の創り手に求められる力の育成	市立高校教育事業
02	01	多様なニーズに対応した学びや支援の充実	人件費 会計年度任用職員
			文化・スポーツ活動奨励事業
			文化・スポーツ大会等支援事業

※「事業名」は政策シート①事業活動(アクティビティ)における事業名

政策番号		政策	事業名	担当課名
02	02	多様なニーズに対応した学びや支援の充実	発達支援教育推進事業	教育支援課
			外国人子供教育支援推進事業	教育支援課
			教育相談推進事業	教育支援課
			不登校児支援推進事業	教育支援課 指導課
			教育支援デジタル運営経費	教育支援課 指導課
02	03	多様なニーズに対応した学びや支援の充実	人件費 会計年度任用職員	教職員課
03	01	「はままつの先生」の魅力と資質能力の向上	スクールロイヤー活用事業	教育総務課
03	02	「はままつの先生」の魅力と資質能力の向上	人件費 会計年度任用職員	指導課
03	03	「はままつの先生」の魅力と資質能力の向上	人件費 会計年度任用職員	教職員課
			教職員管理デジタル運営経費	教職員課
			教職員管理運営経費	教職員課
03	04	「はままつの先生」の魅力と資質能力の向上	教職員研修事業	教育センター
04	01	安全・安心に学べるより良い教育環境の整備	学校情報技術環境整備事業	教育総務課
			小中学校学習者情報環境整備事業	教育総務課
			教育総合計画推進事業	教育総務課
			教育総務運営経費	教育総務課
			小学校運営事業 中学校運営事業	教育総務課
			小学校授業用教材教具導入事業 中学校授業用教材教具導入事業	教育総務課
04	02	安全・安心に学べるより良い教育環境の整備	小中学校建設事業	教育施設課
			小中学校管理委託事業	教育施設課
			小中学校用地借上げ事業	教育施設課
			小中学校施設整備事業	教育施設課
04	03	安全・安心に学べるより良い教育環境の整備	生徒指導推進事業	指導課
			かなわ野外活動センター管理運営事業	指導課
04	04	安全・安心に学べるより良い教育環境の整備	学校安全事業	健康安全課
			小中学校給食事業 学校給食センター管理運営事業	健康安全課
04	05	安全・安心に学べるより良い教育環境の整備	通園・通学バス運行事業	教育支援課
			小中学校発達支援教育就学奨励事業	教育支援課
			小中学校就学援助事業	教育支援課
			小中学校遠距離通学費援助事業	教育支援課

※「事業名」は政策シート①事業活動(アクティビティ)における事業名

政策番号		政策	事業名	担当課名
04	05	安全・安心に学べるより良い教育環境の整備	育英事業	教育支援課
04	06	安全・安心に学べるより良い教育環境の整備	市立高校教育事業	市立高校
			市立高校管理デジタル運営経費	市立高校
			市立高校施設整備事業	市立高校
05	01	多様な人材・主体との連携・協働	コミュニティ・スクール推進事業	教育総務課 学校・地域連携課
			はままつ人づくりネットワーク推進事業	教育総務課 学校・地域連携課
			家庭地域力向上事業	教育総務課 学校・地域連携課
			放課後児童会健全育成事業	教育総務課 学校・地域連携課
			PTA連絡協議会活動助成事業(補助金)	教育総務課
			部活動地域展開等推進事業	学校・地域連携課

※「事業名」は政策シート①事業活動(アクティビティ)における事業名

2025年度取組の方向性

- ・新しい時代に求められる資質・能力の育成に向けた授業改善や教育課程の計画的・組織的な推進など、学習指導要領の着実な推進に取り組みます。
- ・不登校児童生徒の教室復帰や社会的自立に向けて、校内外における「まなびの教室」の増設や、自宅にとどまる児童生徒と校外まなびの教室をオンラインでつないだ交流などの居場所支援により、不登校児童生徒への支援充実に取り組みます。
- ・子どもたちのスポーツや芸術文化活動の環境を整備するため、休日の部活動の地域移行に向けたガイドラインの策定や部活動指導員の増員に取り組みます。
- ・教育データの利活用や学校経営の効率化に向けた統合型校務支援システムの導入、支出管理システムの再構築などにより、教育DXを推進します。
- ・学校施設整備計画に基づき、未来の学校施設のカタチの実現に向けた教育環境の向上と老朽化対策を一体的に推進します。
- ・夏季の気温上昇による児童生徒の熱中症対策として、引き続き市立小中学校の特別教室への空調設備の整備を進めます。また、学校体育館は、災害時の避難所にもなることを踏まえ、全ての市立小中学校及び市立高等学校へ大型スポットクーラーを整備します。
- ・大規模地震や荒天時における児童生徒の安全確保に向けて、全ての市立小中学校に学校用非常食を配備し、安心して学校で待機できる環境を整備します。
- ・放課後児童会の待機児童解消に向けて、更なる民間活力の導入を進め、様々なニーズに対応した子供の安全な居場所の確保に取り組みます。また、夏季休業期間限定のモデル放課後児童会を開設し、通年利用とのすみわけによる待機児童解消への有効性を検証します。
- ・少子化や高校の無償化などの動向を踏まえ、生徒確保や質の維持、魅力ある学校づくりに向けて浜松市立高等学校の在り方の検討を進めます。また、「浜松市公共施設等総合管理計画」や「浜松市公共建築物長寿命化指針」を踏まえた計画的な施設整備や長寿命化計画の策定に取り組みます。

【2025年度の評価】

2025年度の基本政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

- ・ 今求められる学びの実現のために必要なポイントをまとめた「授業改善リーフレット」の作成及び学校への配付、研修での活用を通して、授業改善の推進を図った。今後も授業改善に向けた取組を継続するとともに、柔軟な教育課程編成の在り方について、指定教育研究校での実証研究を進める。
- ・ 校外まなびの教室を1教室、校内まなびの教室を10教室増設するとともに、自宅にとどまる児童生徒と校外まなびの教室をオンラインでつないだ交流などの居場所支援の取組を実施した。引き続き、不登校児童生徒の社会的自立に向けて、校内まなびの教室の増設及び不登校の未然防止、早期発見、早期対応に取り組む。
- ・ 2026年9月の休日の部活動の地域展開に向け、国事業を活用した実証事業を実施するとともに、「地域クラブ活動協議会」での協議や各種説明会での意見聴取を踏まえ、「浜松市『休日の部活動の地域展開』に関するガイドライン」を策定した。2026年9月の地域展開に向けて、地域クラブの認定、指導者人材の確保、補助金制度の創設、各種広報等の準備を加速し、地域全体で子どもたちのスポーツ・文化活動を支える環境を整備する。
- ・ 学校における教職員の円滑な事務執行及び校務の効率化、ICTを活用した学習活動の推進を図るため、統合型校務支援システムの整備・運用、1人1台の学習者用タブレット型端末の更新、教職員における生成AIの導入などに取り組んだ。2026年度から学校に支出管理システム(コアラ:市財務会計システム)を導入し、教育DXのより一層の推進を図る。
- ・ 「浜松市学校施設整備計画」に基づき、11校(小学校7校、中学校4校)の改築・大規模改修工事等の設計に着手するとともに、7校(小学校7校)の工事を実施した。今後も計画的に整備を進め、教育環境の向上と老朽化対策の一体的整備、学校等公共施設の複合化による地域中核施設の整備に取り組む。
- ・ 市立小中学校26校の特別教室への空調設備、全ての市立小中学校及び市立高等学校の体育館に大型スポットクーラーを整備するとともに、小中学校体育館への空調導入可能性調査を実施した。2026年度中には全小中学校の特別教室への整備を完了し、中学校体育館(6校)への空調先行導入に着手する。
- ・ 全ての市立小中学校へ7年保存の学校用非常食を配備した。今後は計画的に更新を図り、引き続き大規模地震や荒天時に下校困難となった児童生徒が安心して学校で待機できる環境の整備に取り組む。
- ・ 夏季休業期間限定の放課後児童会をモデル的に2か所開設し、待機児童の解消を図ったほか、公設・民設放課後児童会の開設や運営支援、放課後子供教室の実施等により、放課後に安心して活動できる居場所づくりを推進した。2026年度は夏季休業期間限定のモデル放課後児童会や公設・民設放課後児童会の拡充を図るなど、引き続き待機児童の解消に取り組む。
- ・ 浜松市立高等学校の在り方検討に向けて、現状の把握のほか、強みや課題の整理等を実施した。2026年度は有識者会議を設置し、市立高等学校が担う役割や魅力、育てたい人材等を再確認するとともに、生徒の確保や教育の質の維持、教育環境の向上と施設老朽化対策の一体的な整備の等について協議を行う。